

<更新日：2003/1/30>

<企画調査部 大井 一伴>

公開可

LNG：米当局，LNG受入基地の非オープンアクセス化へ方針転換

- 新設 LNG 基地計画に追風。米国向け LNG 取引の増加にも潜在的に寄与 -

(Natural Gas Week 02/12/23, WGI 03/1/22, Petrostrategies 02/12/30, 03/1/6, FERC プレズリリース, 他)

1. 米国では，新設 LNG 受入基地（陸上および沖合）に対してはオープンアクセス政策が適用されないこととなった。
2. これにより，米国における LNG 受入基地建設の動きに弾みがつき，米国市場向けの LNG 取引の増加につながるものと期待される。北米西岸の LNG 受入基地計画にもプラス材料。

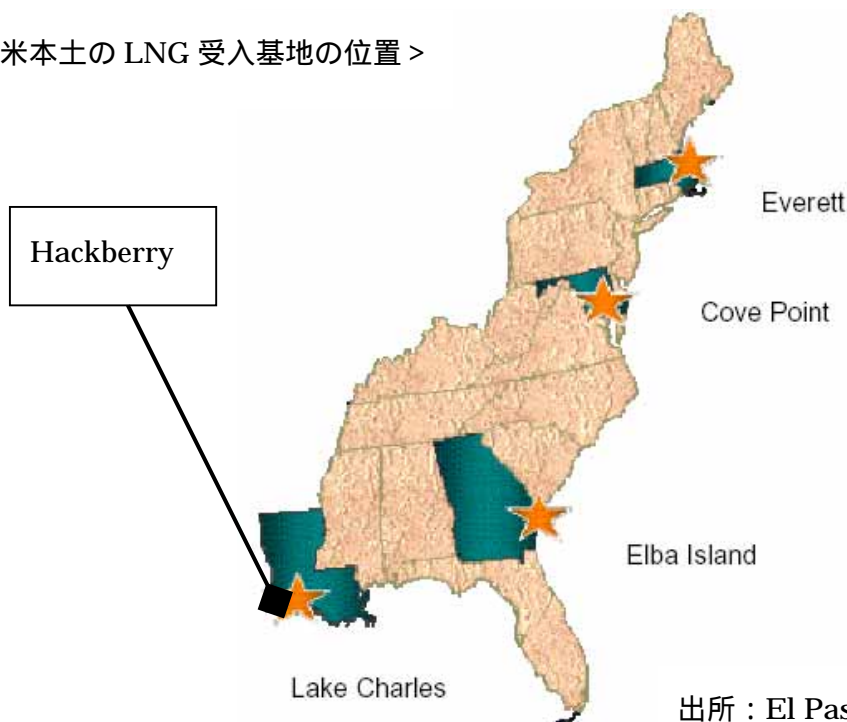
1. 新規の陸上LNG受入基地にオープンアクセスを求めず

(1) LNG 受入基地の新設および増設計画に進展あり

米 FERC (Federal Energy Regulatory Commission：連邦エネルギー規制委員会) は，新しい LNG 受入基地にはオープンアクセス義務を課さないこととした。

これは，昨年 12 月 18 日に FERC が，アメリカ本土では 5 ヶ所目 (*1) となる LNG 受入基地の建設を Dynegy に対して仮承認 (*2) した際に公表された。この基地はルイジアナ州 Hackberry にて，2007 年に 1,500MMcfd の能力で操業開始の計画となっている。

<米本土の LNG 受入基地の位置>



出所：El Paso ホームページ

なお、既存基地の今後の扱いについては言及されなかった。

* 1 : 本土以外にも、プエルト・リコに Enron が所有する 240MMcfd の LNG 受入基地がある。

* 2 : 正確には preliminary determination to approve。環境・安全面の評価も経て最終承認となる。

本件が実現すれば、本土では 1981 年 7 月に完成した Lake Charles 基地以来のこととなる。

一方、FERC は同日付けで Lake Charles 基地の増強計画 (630MMcfd 1,200MMcfd) を許可した ([表 1] 参照)。費用は 177 百万 USD。同基地は CMS が所有、操業している。ところが、数日後に CMS は、同基地を Southern Union へ 1,800 百万 USD で売却すると発表した。

[表 1]

出所:Petrostrategies(2002/12/30)

基地	所有者	利用権者・割合	能力 (MMcfd)	
			2002	2005 - 06
Lake Charles	CMS Energy	BG 81%, Duke Energy 19% : 2002 ~ 05 BG 100% : 2005 ~ 24	630	1,200
Cove Point	Dominion Resources	BP, Shell, Statoil (*3) 各 33.3%	750	1,750 (?)
Elba Island	El Paso	El Paso 60%, Marathon 20% Shell 100% (増設分のみ) : 2005~35	440	800
Everett	Tractebel	Tractebel 100% (*4)	535	715

* 3 : 2002 年 10 月、Statoil は El Paso から 2003 年 ~ 23 年までの capacity を購入した。

* 4 : 例外的に非オープンアクセス。クローズド操業。

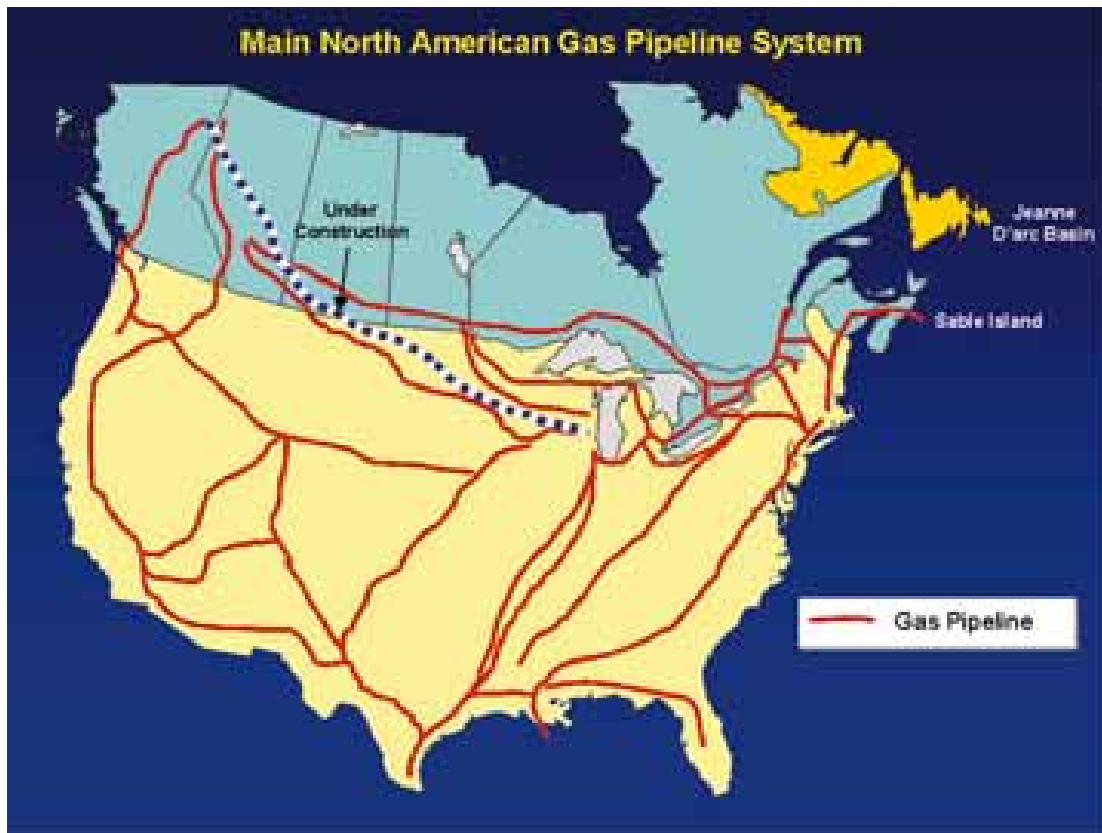
(2) LNG 受入基地の規制上の位置付け

これまで FERC は、明文法規はないものの、LNG 受入基地を州際パイプライン (州間でのガス輸送に利用される幹線 PL。連邦レベルの規制を受ける) と同様に扱ってきた。

州際 PL は、アンバンドリング (販売機能と輸送機能の分離) 政策によって輸送 (ないし貯蔵) ビジネスの場となっており、そこでの規制の重点はオープンアクセスの確保に置かれている。したがって、LNG 受入基地も輸送ビジネスのインフラとして、オープンアクセスの実施を事実上求められてきたが、その結果、米本土の既存 LNG 受入基地における輸送能力 (capacity) は [表 1] の契約状況となっている。実例を挙げると、Elba Island 基地において El Paso は能力増設分をオープンシーズン (能力・期間等の条件をインターネットなどで公開して行う一種の入札) に向け、その結果、Shell が 360MMcfd の輸送能力 (再ガス化能力) を 2005 年から 30 年にわたって確保

した，というものなどがある。

<北米の主なパイプライン>



出所： <http://www.gov.nf.ca/Budget2000/economy/images/Gas%20Pipeline.ppt.JPG>

(3) FERC 方針変更の背景等

今回の方針変更の契機となったのは、2002年10月に開かれた公聴会である。そこで業界側は、

- ・オープンアクセス政策が米国での新規 LNG 受入設備への投資を潜在的に阻害している。
- ・第三者に向けてのオープンアクセス政策，オープンシーズン方式を FERC に要求される現行規制下では，新規 LNG 受入基地を建設しても，それを自らの手に確保しておくことは殆ど不可能。
- ・現行規制下では，米国向け LNG 輸出プロジェクトを認めない産ガス国も多数出てこよう。

と主張した。

要するに，ガス需要の順調な伸びが期待される米国市場へ LNG を販売しようと企図しても，極めて少ない LNG 受入基地・能力しかなく，しかも既存設備は既に押えられており，また，新規に受入基地を設けたとしても，現状では州際パイプラインと同視されてオープンアクセスの実施

を強制されてしまい、十分な経済性を確保できないばかりか、自らは基地を使えなくなる恐れも出てくる、ということと考える。

こうした主張を汲んで、FERC は今回の Hackberry のケースにおいて問題の解決を図り、従来は州際パイプラインと同様に扱っていた LNG 受入設備を、ガス生産設備と同様のものとみなすことにした。したがって、LNG 受入基地はオープンアクセスの対象から外れることとなり、利用料金・条件についても FERC の認可を必要とせず、当事者間で任意に決定できるものとされた。

但し、陸上 LNG 受入基地計画の許認可権は依然として FERC にあり、需要確保の証明として建設開始以前に顧客との契約書を FERC に提出する義務も従来どおり存続する。また、本件が仮承認された理由として、プロジェクト参加企業が経済的リスクを完全に引き受け、顧客がプロジェクト・コストの変動によって不利益を被る恐れがないと認められるため、ということも挙げられている。

また FERC は、当該規制の撤回による LNG 受入基地の建設促進への期待を表明した。国内市場の自由化・競争政策の一環であるオープンアクセス規制が、却って LNG 受入基地ないし米国ガス市場そのものに対する輸入アクセスの不備を生じ、米国ガス・LNG 市場の成長のボトルネックになっていることが、今回の件を通じて FERC に認識されたものと思われる。順調な増加が今後も予想される米国ガス需要に対して供給促進を図る必要性は、FERC としても良く分かっている、ということであろう。

2 . Offshore LNG受入基地に所有者の排他的利用を認める

FERC は陸上のインフラを管轄しているが、LNG 受入基地には沖合の計画もあり、こちらについての公的規制にも最近動きが見られた。

昨年 11 月、一連のテロ対策の一環として Maritime Transportation Security Act が制定され（従来の関連諸法規の統合・強化）、これに伴い Deep Water Port Act にも所要の改正が行われた。この際に、沖合 LNG 受入基地は運輸省（沿岸警備隊）の規制下に位置付けられることが明確になり、あわせて所有者に排他的な設備利用（right to exclusively utilize）が認められた。つまり、新設陸上基地と同様に非オープンアクセスということである。

プロジェクト側の反応も早く、法規が変更されてから程なく（大統領署名の数時間後）、

ChevronTexaco はメキシコ湾での沖合 LNG 受入基地計画 (Port Pelican Project) の許可申請書を提出したとのことである。その数週間後、El Paso も自社が推進する Energy Bridge と呼ばれる沖合 LNG 受入基地計画 (メキシコ湾) について、同様の申請を行った模様 (動向 0206: 「El Paso は従来の LNG 受入基地が不要となる Energy Bridge プロジェクトを計画」参照)。

3. おわりに

現在、大小含めて 40 近くの LNG 受入基地構想が北米にはあると言われる (別表参照)。こうした計画が全て具体化するとは考えられないが、今回の陸上、沖合に関する新政策はこれらの計画を後押しするものとなるだろう。

特に、かねて関心を集めている北米西岸の LNG 受入基地計画が実現することになれば、アジアから北米市場 (太平洋岸) への LNG 取引の実現、また、逆の流れとして世界最大のガス市場であるアメリカの国内ガス価格のアジアへの伝播、という事態も現実味を帯びてくることになるのではないかと。

以上

推進企業	場所	タイプ	能力 (MMcfd)	開始時期
A-Bahamas				
AES	Ocean Cay, Bimini	onshore	800	2004/11 ~ 2005/03
Tractebel	Grand Bahama Isl.	onshore	500 ~ 800	2006
TotalFinaElf	N. Bahamas?	onshore	n.a.	n.a.
B-Canada				
Irving Oil, ChevronTexaco	St. John, New Brunswick	onshore	500	n.a.
C-US East coast				
BP	Tampa, Florida	onshore	n.a.	n.a.
BP	Baltimore	n.a.	n.a.	n.a.
ConocoPhillips	Gibbstown, NJ	onshore	275	n.a.
ConocoPhillips	Norfolk, VA	n.a.	275	n.a.
DuPont	Deepwater, NJ	n.a.	n.a.	n.a.
El Paso, Mitsui, Exmar	Northeast	ship	400	2004 ~ 2006
Motiva	Delaware City	n.a.	n.a.	n.a.
Sun Oil	Marcus Hook, PA	n.a.	n.a.	n.a.
Weaver's Cove Energy	Fall River, MA	onshore	n.a.	2007
D-US GoM				
Cheniere	Freeport, TX	onshore	1,000 ~ 1,500	2006末
Cheniere	Sabine Pass, TX	onshore	1,000 ~ 1,500	2007末
Cheniere	Corpus Christi, TX	onshore	1,000 ~ 1,500	2008末
ChevronTexaco	Port Pelican	ship	800 ~ 1,600	2006
CMS	Louisiana?	offshore	1,000	2006
Dynegy	Hackberry, Louisiana	onshore	750 ~ 1,500	2006/11
El Paso, Mitsui, Exmar	Louisiana?	ship	400	2004 ~ 2006
El Paso, Mitsui, Exmar	Louisiana?	ship	400	2004 ~ 2006
Shell	GoM	offshore	n.a.	n.a.
E-US West coast				
Bechtel, Shell	Mare Isl., CA	onshore	1,300	2007
BP	CA	n.a.	500 ~ 1,000	2006
ChevronTexaco	CA	offshore	500	2005
Mitsubishi	LA, CA	onshore	685	2006
Crystal Energy	Oxnard, CA	offshore	410	2006
F-Mexico Atlantic coast				
CMS	Tampico	onshore	1,000 + 1,000	2006 ~ 2008
EL Paso, Shell	Altamira	onshore	500 ~ 1,300	2006
G-Mexico Pacific coast				
CMS	Ensenada	onshore	1,000	2005 ~ 2006
El Paso, ConocoPhillips	Rosarito	onshore	680	2005末
El Paso	Lazaro Cardenas	onshore	n.a.	2005末
Intercapital	Baja California	onshore	1,400	2006 2007
Marathon, Pertamina, Golar	Baja California	onshore	1,000	2005末
Repsol, Gas Natural	Lazaro Cardenas	onshore	n.a.	2005末
Shell	La Jovita	onshore	1,300	2006
TotalFinaElf	US border	onshore	1,000	2006 ~ 2007
Tractebel	Lazaro Cardenas	onshore	500	2006
Yukon Pacific	Baja California	n.a.	n.a.	n.a.

(出所: Petrostrategies 2002/12/30)